FMRゼミ論2023＜付録＞佐古瑛大朗

1. 付録

1.1. 事前アンケート集計結果

タイムスタンプ	2023/11/27	2023/11/28
サードプレイスという言葉を知っていますか	はい	はい
あなたは、家や学校以外に居場所を感じるような場所はありますか	はい	はい
それはどこですか(抽象的な答えでも構いません(例)通学路のカフェなど)	サークルの事務所	バイト先など゛
どういった点が居場所を感じさせますか(ない人はこういうものがあったら良いなど)	自分が事務所の引越しに携わったから	自分が必要とされていると感じる点
誰かと鍵を共有していますか(緊急用に保管されているであろう合鍵などは含まない)	はい	はい
差し支えなければ何の鍵か教えてください (家の玄関、バイト先のロッカーなど)	家の鍵	マンションのオートロック 家の玄関
差し支えなければ誰と共有しているか教えてください (家族、恋人、友人など)	家族	マンションの住人、家族
鍵を共有しているのは信頼している相手ですか	はい	はい
いいえと答えた方は共有している理由を教えてください		

1.2. 事後アンケート集計結果

タイムスタンプ	2023/12/08	2023/12/08
この鍵とボックスによって、参加者同士で得た一体感の度合いを教えてください	3	4
選択の理由を教えてください		他の参加者の日常が垣間見えることで、直接会うことはなくても存在を感じることができた。また、一緒に一つの箱を作り上げているという実感があったから。
実験を通して、共通室に居場所を感じることができましたか	3	4
選択の理由を教えてください		箱を共有する人たちの存在を感じることができ、自分もその一員であると実感できたから。
その場(共通室)ではどのように過ごしましたか	卒論書いたり お菓子を食べたり	ボックスの中のお菓子を食べたりしながら過ごした。
ボックスの使用用途を教えてください	本棚, 物置	宝箱, 交流の場
ボックスの中に入れたものと理由を教えてください1つ目 EX)飴　食べてほしかった	図書館の本 家に持って帰るのが重かった	ベイク　食べてほしかった
ボックスの中に入れたものを教えてください　2つ目	教習所の試験結果 置いていった	ステッカー　見てほしかったから
ボックスの中に入れたものを教えてください　3つ目		
心境が変化したタイミングがあれば教えてください	ありません	これといったきっかけはなかったが、だんだんと「次は何を入れよう」など、日常の中でボックスを意識する瞬間が増えていった
生活の中でボックスの事を思い出しましたか	4	4
家など他の場所で鍵を見ることは、また行こうと思わせるきっかけになりましたか	3	3
ボックスを通じて誰かとコミュニケーションを取りたいと思いましたか	3	4
もし部屋、またはお店の鍵を既存のコミュニティの複数人で共有したらその場所を利用したいと思いますか	3	4

1.2. 事前インタビュー

1.2.1. 事前インタビューAさん

佐古:
始めます。回答ありがとうございます。いくつか質問したことについて聞いていくんですけど、まずサードプレイスっていう言葉。知ってるって答えてくれてるんですけど、なんで知ってるというかどこで知りましたか。
A:
大学の授業。大学の授業で触れた。ゼミが子供文化と居場所ゼミで、サードプレイスの概念を取り上げています。
佐古:
差し支えなければ、何の授業か覚えていますか、
A:
私が所属しているゼミが「子供文化と居場所ゼミ」で、子供若者の居場所の勉強をしています。そこでファーストプレイス、セカンドプレイスと学びました。
佐古:
それって結構日常的に扱われるテーマなんですか、それとも何か、たまたまそういう話が1回だけあったとか、
A:
ゼミでは日常的にサードプレイスの話が出てくる。例えば、子供食堂や学校教育といったテーマに取り組んでいる。
佐古:
サードプレイスに対しては知っている。なるほど、わかりました。ありがとうございます。サードプレイスっていう言葉を知った上で、家とか学校以外に居場所を感じるような場所これが何か一応サードプレイスを知らない人向けにこういうことを書いてるんだけど、つまりはあなたはサードプレイス的なものを持ってますかっていう質問なんだけど、一応はい。って書いてくれて、それがサークルの事務所だと思うんだけど、また一応書いてくれてはいるんだけど、何かそこでどういった過ごし方をしているとか、何をしているとか、それを聞きたいです。
A:
後輩と喋ったりしています。事務所は、学館のアトリウムで話せない内容を誰もいない時間帯に利用しています。
佐古:
なるほど。ちょっと公に話しにくい話をちょっとオープンな場所っていうか、使いやすい会議室みたいな感じで使ってるんだね。これは俺の勝手な想像なんだけど、結構1人でも行くことあると思うんだけど、1人で行くとき利用するときに事務所を選んでるのってどうしてですか？
A:
事務所はサークルの団員の特権みたいな感じで、自分が1人で卒論を書く時にも、誰かが来るとしてもサークルの人だから、その空間は居場所として感じている。
佐古:
「誰かと鍵を共有していますか」という質問に「はい」と答えてくれています。回答が家の鍵。共有相手が「家族」と答えてくれていると思います。家族以外に鍵を共有することに何か抵抗があったり、あくまで他人だからなって思うことってありますか。
A:
ある。まず、自分に置き換えて考えたときに、見ず知らずの人の家の鍵とか別に要らないし、入ろうと思わないです。

佐古
自分のサードプレイスだと思っている場所、サークルの事務所っていうよりは、新しい場所、新しいカフェとかで人と鍵を共有することに抵抗はありますか。
A
他人とその場を共有することに対しては、時間制にしてほしい。見ず知らずの人と一緒にいるのは嫌だが、特定の時間帯だけ利用できるならOK。
佐古:
なるほど。結構レンタルスペース的な使い方だったら、なるほど、ありがとうございます。以上でインタビュー終了になります。ありがとうございました。

1.2.1. 事前インタビューBさん

佐古：
はい、改めて回答ありがとうございますっていうのと、朝来てくれてありがとうございます。
B：
ありがとうございます。
佐古：
回答してもらったものについて、**何個かこれに沿って聞いていきたいと思います。**
B:
はい。
佐古：
まず、サードプレイスっていう言葉を知ってるって答えてくれています。授業あどで習ったりして知ってるんですか。
B:
授業で聞きました。
佐古：
そうなんだ。何の授業か覚えてますか？
B:
何とか居場所っていう授業だったと思うんですけど。
佐古：
結構しっかりと扱った？
B:
はい。結構ちゃんと出てきた言葉でした。
佐古：
社会学系かな。教育とかの話の中で出てきた？街とか言うよりは、
B:
あ、確か現代人の居場所だったと思う。
佐古：
阿比留先生？
B:
阿比留先生です。取ったときに出てきたんですけど、それまでは一切知らなかった。
佐古：
授業の中で出てきて、
B:

はい。
佐古：
なるほど。家や学校以外に居場所を感じる場所がありますかっていうのは、これはその家がファーストプレイスで学校がセカンドプレイスっていうときに、実際何を聞いてるかってサードプレイスあなた持ってますかっていうのを聞いてるんだけど、「はい」って答えてくれてて、中身について聞きたいです。
B:
はい。私はバイト先と答えたと思います。あと私、アイドルが好きで、ハロプロなんです。ハロプロでいくライブとかも、友達とかいる。居場所っていうかわかんないんですけどそういうふうに思ってます。
佐古：
バイト先っていうのは、そのバイト先の仲間が居場所なのか？それともバイト先の事務所だったり、ちょっとしたそのバイト先のアルバイトしてる空間だったり、どっちが居場所だと思ってる？
B:
バイトしてる空間かな。。
佐古：
一応家と学校がファーストセカンドなんだけどバイト先ってちょっとやっぱり勤務先に近いからセカンド寄りではあるね。そのバイト先の仲間とよく合うような場所だったり、なんだろうな。その職場っていうほどかっちりしてないけど会えるような場所とかってあったりする。
B:
私がやってるのが飲食店なのでそのバックヤードっていうか、ちゃんとした休むスペースみたいなのはないんですけど。その裏で何かみんなでお喋りしたりなどはよくあります。
佐古：
それはいいね。どうしてそれが、いい場所だと思ってるかっていうのにちょっと深掘りしたいんだけど。ここでは自分が必要とされていると感じるって書いてくれてるけど、これはその場所でも感じてる？バックヤードでも感じてること？
B:
バックヤードだとそうでもないかもなんですけど。どっちかというと自分が、部外者じゃないって言った方がいいかもしれない。自分が部外者じゃなくて自分がいてもいいっていうふうに感じられるっていう意味でバックヤードは居場所かな。
佐古：
なるほど。自分の属してる環境だっていうのがわかってたら。なるほど。逆に同じ場所でも違う人が急に入ってくる。例えば何かその取引先の人とかが急に何かわらわら来るようになったら、ちょっと居場所じゃなくなるような感じがしちゃうかもしれない？
B:
今まで、なんか砕けた感じで喋ってたのとはちょっと変わって、荷物ここ置いといてくださいとしたりみたいな感じで、ちょっとなんだろう、その裏のあれとは違うくなるかなって思いますほど、
佐古：
何か差し支えなければなんだけどバックヤードとかで話す話って、その職場の職場の話の砕けた話が多いのかそれとも完全にその関係ない話もしてるような、
B:
半々ぐらいだと思います。なんか今度旅行でどこ行くとかも話すし、この人、今度ここ行くらしいよっていうのを話すしみたいな感じです。
佐古：
なるほどねちょっと砕けた話もするし、もう全然関係な雑談もするんだ。そうなんだ。ありがとう。よし、サードプレイスの話だった。
佐古：
今回の一つのテーマが鍵なのでちょっと鍵についても深掘りしていきたい。誰かと鍵を共有してますかってことで、はいって答えてくれてて。家の鍵を家族かな

B:
家族
佐古：
確かにそうかマンションの住人も（対象か）
B:
家がオートロックでした。その1階の表玄関のところは、マンションの住人はみんな同じです。
佐古：
確かそうだよねその見方を忘れてた。なるほどね。
B:
普段違うってないですよね。同じ
佐古：
同じだそうだね。これ面白いな。家の鍵を、多分家族だけかな。家族と共有する。うん。家族以外で持ってたりする人っていたりする。
B:
もしかしたら、祖父母が持ってたかななるほどと思うんですけど覚えてないんです。佐古:
でも、それは一応血の繋がってる人以上には少なくとも、
B:
はい、うん、
佐古：
なるほど。そっか。マンションの例えばなんだろうな。マンションの鍵って、不特定多数ある程度特定はできるけどはい不特定多数の人が持ってるわけじゃない。それで何かマンションの中に入ったときに、この自分の家に帰ってきたなって実感ってありますか。
B:
マンションあれもう、もう玄関なんていうか、建物の中入っちゃえば帰ってきたなってなります。
佐古：
それは、空間が隔てられているっていうか、どういう気持ち、どういうことが理由。ちょっと質問が曖昧で難しいんだけど。どういうきっかけでその感情って生まれてるかとか、何か思う。
B:
でもやっぱり知ってる人以外が入ってこないから、割と何してもいいっていうあれじゃないですよ。緊張が解けるじゃないですけどっていう感覚かなと
佐古：
でもなんかやっぱりマンションの住人で、全員と顔見知りなわけじゃないじゃないですか。
B:
はい。
佐古：
それでも同じマンションの住人だなって思ったら、何か同じ鍵を共有してても、特にその抵抗とかはない。
B:
なんかもう生まれたときから同じマンションだからなんか抵抗っていうかもう当たり前だ
佐古：
なるほど、確かにこんなこと聞いててあれだけど俺もそうだからそうだなと思います。なんか逆に俺が今テーマにしてるのが、まち作りの中でちょっとそのコミュニティスペースを作りたいみたいな、思ってて、例えばそのDelightでさ、wiseLivingLab使ったじゃない、あれの鍵を共有したらみんなそこで入りやすくなって、かつその何だろう、ここに私は入っていいんだっていう許可証みたいな感じで、その鍵っていうのは使えたらなんか楽しそうだなって思って。うんちょっと時間がなくて、あそこで許可は取りに入れなかったんだけどしかも鍵を複製するの難しいと思うんだよね。
B:
そうですね。

佐古：
うん。でやってるんだけど、同じ街に住んでるっていうくくりで、その何か鍵を共有して、同じ場所を共有するってなったら、何か行ってみたいなって思ったりとか、なんか逆にちょっと、同じ街に住んでるとはいえ、誰かわかんないから、ちょっと抵抗あるとかあったりしますか。
B：
なんだろう別に抵抗はないと思うんですけど、なんか行く目的がないと行かないなんかないかもしれないなんて思います。
佐古
目的は、例えばなんだ。どんなの挙げられる。
B
何かスペースだと、何か作業しやすい何か静かで、なんか勉強できる課題ちょっとやれるとかだったら使いたいなって思うんですけど。でも、なんだ。他の目的がわからないんですけど、
佐古
なんか俺が想像したのは例えば何かカフェとかも、サードプレイス的なだけど飲食が目的であって、人が集まるとかそういうやっぱ何かしらただ場所があるだけだと、行かないわかります。ありがとうございます。
B
ありがとうございました

1.2. 事後インタビュー

1.2.1. 事後インタビューAさん

佐古: 改めて実験参加ありがとうございました。最後に卒論のこの研究の事後アンケートをとっていきたいと思うんですけど。実験を経て、1週間やってもらったと思うんですけど、感じたこととか、こういうことがあったっていうのを、ちょっと一つ一つ深掘りしていきたいので、回答してください。

A: お願いします。

佐古: 質問1点目、この鍵とボックスによって参加者同士で得た一体感の度合いを教えてください。どれくらい一体感を感じたかについて教えていただけますか？

A: 一体感を教えてくださいでしょ。どれぐらい一体感を感じたか。

佐古: 最初は本1冊くらいしかいれてなかったけれど、結局今多分3冊ぐらい入れていて、その意味では一体感を感じた。最初は本1冊しかいれてなかったけれど、結局今は多分3冊ぐらい入れていて、その意味では一体感を感じた。

佐古: なるほど。最初はちょっと遠慮をして、1冊しか見てなかったけど、だんだんその会期、会期というか、実験が進むに連れてもうちょっと入れていいかなみたいな。気持ちにゆとりが出てきた。確かにそれも一体感って言えるかもしれない。

佐古: ありがとうございます。次二番目、実験を通して、これは箱の中じゃなくてこの場所なんだけど、共通室ここに居場所を感じることができましたかという質問で、これも3と答えてくれてるんだけど、どういうところでその居場所を感じられたかっていうのと、逆にそのどういうところでちょっと何か一発の悪さというか、居場所に感じなかったポイントがあるかっていうのを聞きたくて、まずその居場所に感じたところから、教えてほしい。

A: なんか卒論とか書いて、知らない人が来ると少し気まずかった。なんか卒論とか書いて、知らない人が来ると少し気まずかった。

佐古: なるほど。それは、実験に参加。してる人でもしてない人でも一緒でしたか。

A: はい。

佐古: なるほど、わかりました。それは、どうしてだろう。

A: 何だろう、自分がボックスを使ってるけど、何となくまだ居場所に感じきれてないというか、他の人も入ってくるから、居場所に感じきれなかった。1週間では難しかった。

佐古: なるほど、わかりました。ボックスの使用用途を教えてくださいっていうところで、これさっきの今質問の1個目とかぶるところもあるんだけど、教えて欲しいんだけど、本棚と物置として回答してくれて、それぞれ本棚として読んだり、使い方をしたのかっていうのと、物置としてどういう使い方をしていたのかっていうのを教えてほしい。

A: 図書館とかで借りた本、家に持って帰るのが多いから、ここに置いておこうっ感じで、本棚と物置として使っていました。

佐古: なるほど。物置も同義というか、同じような意味で、うん。何か図書館の本以外にも、あの教習所の卒業検定の合否の紙とか置いてくれたと思うんだけど、

A: あれは持って帰るのが嫌で置いてった笑笑、何かこれに対して、他のもう1人の参加者の人から、他人の生活が見れて、何かそのときに初めて他の人と一緒にやってるんだっていう実感を持ちましたっていうふうに言われて、何かそういった瞬間他の逆に向こうの人が置いてったもので何かこんな物を置かれた、ちょっとびっくりしたり、何かアクションがあったことってありますか。

A: お菓子。お菓子を食べられて素直に嬉しかった。

佐古: そうだね。

A: BAKEとか、お菓子をもらったときに、何かその初めて他者を実感したっていうか、これ共有してるんだなっていう実感を得ました。

佐古: なるほど。はいちょっとこの共通室離れて、普段の生活になるんだけど、生活の中で、そのボックスのことを思い出しましたかっていうの4なんだけど、これは、どういうことか聞いてもいい

A
何か家で卒論とかを書いてるときに、そういえばこの本あのボックスの中だなあ、今どうなってるかなって。

佐古

なるほど。この近くこのボックスの近くでやってたことをしてるときに、ボックスの事を思い出したり、中に入れたもの、繋がりで思い出したりすることが多い。

A

はい、そういうこと。

佐古

鍵を南京錠の鍵を持ってもらったと思うんだけど、その鍵を見ることによってそこで、また行こうって思わせるきっかけとか、逆にさっきじゃないけど思い出すようなきっかけになったりはしました。

A

なりました。

佐古

それってどういうタイミングで見たりした。

A

うーん、鍵を見るっていうかは、鍵を見て、本の、図書館の本の存在を思い出して、ボックスの存在も思い出すみたいな。

佐古

結構中に入れたもの繋がって思い出すことが多かった。わかりました。Aさんは本とか、自分の物置として使ってたから、あんまり他の参加者とコミュニケーションを取ろうっていうような使い方はしてなかったと思うんだけど。ボックスを通じて誰かとそのコミュニケーション取りたいと思いましたか。

A

うーん。まあまあ。

佐古

ちょっとこれは実験期間の問題？ちょっと実験期間が短かったから？まだちょっとそこまで心が開けなかったとか、逆にそれ以外の要素相手のもし学年が一緒だったらとかそういう話とか、それでもう1回ま

ずコミュニケーションとりたいと思いましたかっていう質問で、仮に今なんかあんま取ってなかったと思うんだけど、もし今回、会期が1週間だったから実験の期間が、その1週間では足りなかったっていうことなのか。もしくはそもそも、あまりシステムでは取りたいと思わなかったか。それかその他に俺が想像できてない理由があるか。

A
うん。このボックスの中に、ものを置くことで、コミュニケーションを取るのは何か難しいなと思いました。

佐古
難しい、なるほど。

A
なんかその、交換日記的なことっていうか、相手と実験者と、何かその文通的な感じで、やり取りとかができたら、もう少し楽しかった。

佐古
なるほど。ということはもっと。実際会って話したり、言葉のコミュニケーションがないと、うまくまだ話せなかった、話せなかったとかコミュニケーションを取ろうっていう気持ちにならなかったってことか。わかりました。

佐古
そもそもこのボックスの使い方に関して、その自分のプライベートな空間として認識してたか、逆にその友達と共有してるっていう共有スペースとして認識してたかどっちでした。

A
半々ぐらい。なんかプライベートのスペースとして考えたときに、結構中身が、例えば自分以外の誰かによって入れ替えられたり、場所が変わったりしたと思うんだけど、それについて何か違和感というか、嫌だなっていうマイナスの気持ちでもいいし、特に何も思わなかったでもいいし、何かありました。

A
えーと、なんというか相手がいるんだなって実感しました。

佐古
なるほどちょっと、そこで自分以外の誰かもいるんだなみたいな実感というか、気づきはあった。ありがとうございます。ちゃんと最後に、ちょっとこれは発展的な質問になるんだけど、もしその部屋とか、お店の鍵を既存のコミュニティの複数人で共有したら、その後処理をしたいと思いますかっていう質問で、こ

れは例えばそのマンションの同じマンションでゆたち数人で、下のその共有スペースの鍵を借りて、そこで何か話し合ったり、コミュニティスペースとして使うとかそういうことを想定してるんだけど、そういうものがあったら利用したいと思いますか。

A
人によるかもしれないです。

佐古
人によるかもしれないですけど、ていうのは？

A
年代とかかな

佐古
どういう人だったらいいとかありますか
A
何か年代が近い人とだったら、共有してもいいかなって思います。
佐古
やっぱり年代が離れたり性別が違ったり、あと何だろう全くその環境が違う人だとちょっとやりにくいかな。
A
うん。
佐古
わかりました。以上で事後アンケートと事後インタビュー終了です。改めてご参加ありがとうございました。

1.2.2. 事後インタビューBさん

佐古

事後アンケートです。改めて実験参加ありがとうございましたございました。回答に沿って見ていくんだけど、まず最初、この鍵とボックスによって、参加者同士で得た一体感。ちょっと参加者は少なかったと思うんだけど、一応4で回答してくれて、この中身書いてもくれてるんだけどなんかもっと具体的にというか、詳しく教えてもらってもいいかな。

B

一番その感じたなと思うシーンが、何だっけ、何か卒検

佐古

うん、卒論？

B

そつ、、なんだっけ。あれです。「不合格」みたいな紙が入ってたのを見て、何か日常じゃないんですけど、他の参加者の普段の生活の様子が垣間見れたっていうのが一番印象に残ってて、それが何か大きかったかなって思います

佐古

なるほどそこから相手の生活というか、その日常を、自分とは違う人がいるってことを。その人とこの鍵をこのボックスを共有してるんだなっていう実感が一番(感じられたんだ)、よかった。

B

はい、感じました。

佐古

一緒に一つの箱を作り上げているという実感があったから、ありがとうございます。こんな感じかな。次、実験を通して共通室に居場所を感じることができましたかっていう質問に対して、これも4って回答してくれてるんだけど、これも同じように深掘って聞いてもいい？

B

はいちょっとさっきの質問とかぶっちゃうところもあるんですけど、他の人の存在を感じることができたっていうのが大きい。その自分のに関わってるから、うん。それを一緒に作り上げてる感じ。が、その居場所っていうかそれに繋がったのかなっていう自分も貢献してるんだ。って感じが居場所を感じる。その何だろうきっかけとか理由になった気がします。

佐古

なるほど何かしら貢献したものがあるからこそ、今までその来たことなかったと思うんだけど共通室に。多分、会期が短かったから少しかもしれないけど、居場所というか帰属意識みたいなのを感じることができたってことか。

B

はい。

佐古

ありがとうございます。はい。次ボックスの使用用途。あやなちゃん結構お菓子とか持ってきてくれたり、お菓子かな？大体。(放送が入ったため中断)いたと思うんだけど、この使い方、何でこれを選んだのかをちょっと教えてほしいです。

B

お菓子を入れたのは、うん。なんか純粋に食べて欲しかったっていうか。その入ってたら自分が嬉しいなと思うものを入れたっていう感じです。

佐古

なるほど入ってたらでいなっていうのは相手にもちょっと嬉しい、嬉しくなって欲しいというか、そういう気持ちがあったってこと？なんかそれって最初から生まれた、それとも何か途中からだったりする

B

途中からだった

佐古

何かきっかけとかあったりしました。

B

これといったきっかけみたいな、多分、次の質問のところにも書いたんですけど、それといったきっかけがあったっていうよりはなんかだんだんと次行くときこれ入れたいなとそういうのを考えるようになりました。

佐古

なるほど。だんだん居場所というか、そのコミュニティが出来上がってってことですね。ありがとうございます。この過ごしたっていうのは共通室で過ごしたってことでいい？

B

はい。

佐古

そうだね、こっからボックスの中に入れたものとその理由を教えてもらってるんだけど、BAKEを入れてくれたんだけど、これの理由は、食べて欲しかった

B

BAKE好きなんです

佐古

美味しかったありがとうございます。

B

ありがとうございます。

佐古

うん。これは、お菓子って一番単純に喜んでもらえるものっていうのはあるかもしれないけど、もし何かあればさっきの質問とかぶっちゃうけど、何で入れたのか。聞いてもいい。

B

喜んで欲しかったっていうのも、さっき言った通りなんですけどうん。箱に対してできるアクションみたいなものが。それぐらいしかなかったっていうのもありますし、箱開けて他の参加者の方も取って食べるっていうことが何かできるので、ただ見るっていうだけじゃなくて、それもいいかなと思って、お菓子いれました。

佐古

参加者のことまで考えてくれてありがとうございます。確かにそう見るだけになっちゃったら実験がちょっと終わっちゃうから、いやめっちゃありがとう。

B

笑笑

佐古

2個目、ステッカー、これライブの後だと思うんだけどはい。そもそもステッカーでこれ何のステッカーだったの？

B

風船のステッカースマホの裏に入り入れてたんですけど、私めっちゃ風船好きで

佐古

そうなんだ。

B

それでもうずっと挟んでたんですけども1日目っていうこともあって、その何もちょっと持ってきてなかったので、ちょっと見てほしいなと思ってステッカーを入れました。

佐古

そういうことか、何かそれこそライブの日だったから何かライブのもらえるものとかそういうものかと思って 全然違う。昔から風船が好きなんだ

B

ずっと風船好きです

佐古

そうなんだ。今感じたのが自己紹介というか、こういうの好きなんですよみたいな名刺代わりに差し出しているような印象をうけました。

B

それもあるかもしれない。

佐古

もし仮にこういうステッカーを見たよっていうリアクションがあったらもっと楽しくなってたと思う。

B

確かにこれに対してリアクションがあったら、他の参加者のことを知れるなと思う。

佐古

そうだよね。なんかSNSとかも、つぶやくだけじゃなくてさ、返答とかいいねとか来たらだんだんだんだんはまっていく。

B

そうですね

佐古

今回は1週間だったから、お互いの相互の関係ってあんまりできなかったけど、いずれはやりたい。これめっちゃ被るけど一応おさらいで心境が変化のタイミングがあれば教えてください。

B

これもさっき言った通りだんだんっていう感じだったんですけど。でも、だんだんその鍵を見てたからかなと思うんですけど、意識するようになって何か明日これ入れようみたいなものをなんかちょっとずつ考えるようになりました。

佐古

なんか入れようって思って、やっぱりやめたものとかあったりした？

B

なんか、ちょうど初日ぐらいにそのステッカーを入れたタイミングでステッカーじゃなくて私モーニング娘。好きなので、モーニング娘。のなんかチケットとか入れちゃおっかなと思ったんです。でも知らない人いたら嫌だったので入れるのやめました。

佐古

なるほど。これはもし、もうちょっと関係が出来上がって信頼関係ができてたらいけたかも知れない

B

そうかもしれないですね。

佐古

なるほど。これがこの実験がもし1ヶ月とかなったら入れたかもしれない。これまでに話してくれたことが多いけど、生活の中でボックスのことを思い出しましたか。これは思い出してくれたっていう回答でいいかな、

B

はい

佐古

鍵を見ることがまた行こうと思わせるきっかけになりましたかっていうので、これが他のよりも1個下がってるけど、回答について教えてもらってもいい。

B

私だけだと思うんですけど、私の鍵すごいいっぱいいろいろじゃらじゃ付いてて、なんかその中に埋もれてしまっていたっていうだけなんですけど、ピンポイントでその鍵を見ることがあんまりなくて、

佐古

なるほど

B

なんかその行こうって思わせるきっかけっていうよりは思い出すきっかけみたいな感じになったかなっていう、でした。それで思い出して、あ、これしたいな行こうかなっていう感じでした。

佐古

なるほど。「思い出す」と、「行こう」にはやっぱちょっとまだ差があるんですね。そうなんだ。なるほど。ありがとう。これで、いろいろ入れてくれたから、うん。そこで測れてるとは思うんだけど、ボックス通じて誰かとコミュニケーションを取りたいと思いましたかっていう質問で、4で取りたいと思ってくれた

B

はい。

佐古

なんかどういったコミュニケーションを取りたかったとか。もっと実はあのノートとか置いてたんだけどあんまり俺が斡旋というか何か仕向けなかったから多分どっちも書いてないと思うんだけど、うん。もっとノートのコミュニケーションが欲しかったとか。1回顔を合わせたと思うんだけど、そういうところでもう少しお話がしたかったとか、そういうのあったりしますか。

B

普通に会うだけでは知らなかった、この本読んでるんだっていう発見を逆に箱があったからこそ知れたという感じだったので、その話とかもう少し聞きたいなと思いました

佐古

なるほどね。

B

はい、

佐古

確かに普通に会うよりも、逆のプロセスというか、

B

なんか普通に会うだけじゃ多分読んでる本とか、確かにさっきの不合格とか絶対に知らないと思うんです。箱があったからこそ、知れたことっていうのはあったかなと思います。

佐古

うん。なるほど、確かに面白い。ありがとうございます。これちょっと発展の質問にはなるんだけど、はい。もし部屋、またお店の鍵を既存のコミュニティってこれ大体俺が最初に言ったまち作りをイメージしてるから、その町のなんか何人かとか同じマンションの何人かで、その下の部屋を共有するみたいなことをイメージしてるんだけど。そしたらその場所を利用したいと思いますか、4って書いてくれてまだ理由というか、中身を聞いてもいいですか

B

はい。それこそさっき言った知らなかったことを知れるみたいなのがすごい楽しいなと思って。マンションの住人でも顔を合わせるだけじゃ、何かちょっとだけの挨拶で終わっちゃうと思うんですけど、そういうのがあれば、何かもっと相手のことを知るきっかけになるのかなと思って、それがいいなと思います。

佐古

なるほど。今、知らない相手だからこそ、今回の実験は早大生同士ってのもあってちょっと予めの信頼関係といか。相手の素性がわかってるっていうのあると思います。具体例としてマンションを挙げると、僕の主観的には信頼度というか、本当に何かどんな人なんだろうってわからないところあると思うんだけど。信頼関係がなくても、使い始めると思いますか。

B

でも確かに私もさっきモーニング娘。のチケット入れようか迷ったように自分を開示していくみたいなのが、いきなりバーッとは難しいなと思う。だんだんなのかな。時間をかけてゆっくりって感じなのかなって思います。

佐古

やっぱり時間は大事。わかりました。ありがとうございます。最後に追加で聞きたいことがあって、途中で1回箱の中身を結構入れ替えたら、わかるかな、棚を入れ替えたの。

B

棚を入れ替えた？気づいてない。

佐古

箱の中身が入れ替わってるじゃん。自分がその宝箱って使ってる場所なのに、急に物が入れ替わってることに対して何かマイナスの感情がプラスの感情がわかんないけど思ったりしたことってあります

B

物が入れ替わって、でも自分の箱っていうよりはその共有されてる場所なので、それが嫌だっていうよりは、徐々に変わったんだなとどっちの感情もなかったっていうか、

佐古

結構Bさん的には、箱はもう完全に共有のものとして使って自分のプライベートなものはてかそのプライベート空間だとあんまり思ってないって感じですか。

B

何か半プライベートではあるんですけど、何か他の人を使ってるかなぐらいの感覚で使ってました。

佐古

なるほどです。ありがとうございます。以上です.